

アルビレックス・レーシング・チーム

Albirex-RT

PRESS RELEASE

2013/8/25

スーパーFJ 富士シリーズ 第 4 戦

CAR No.35

Beyond

福島 政也

アルビデジャヴビヨンドGIA

CAR No.36

MID Japan Inc.
Mitsui Impress Development

太田 達也

玉三郎 ED アルビ RT 岩本 10V

CAR No.37

MAKE WINNER

神村 悠太

メイクウィナー男前アルビ岩本 ED

8 月 24 日 (土) 予選 8 月 25 日 (日) 決勝 1 LAP=4.563km 出走 : 10 台

予選結果 : 太田選手 2 位 神村選手 6 位 福島選手 9 位

決勝結果 : **太田選手 優勝** **神村選手 5 位入賞** 福島選手 9 位

**太田選手が4戦中3勝目をマーク！
見事シリーズチャンピオン獲得！！**



■8月24日（土）予選

天候：曇　　コース：セミウェット　　気温：27℃　湿度：71%　路温：32℃

太田選手は4番手、5番手に神村選手、続いて福島選手の順にコースイン。予選開始直後から太田選手は2番手タイムをマークするも、最後までトップタイム更新まではならず、トップと約1秒差で2番グリッドとなった。神村選手は6番グリッド、福島選手は9番グリッドを獲得し、翌日の決勝に備えた。

■8月25日（日）決勝

天候：小雨　　コース：ウェット　　気温：23℃　湿度：82%　路温：23℃

小雨の中、13時23分決勝スタート。

太田選手はスタート直後に予選1番手車両の横に並ぶと、そのままイン側のポジションをキープして1コーナーへ進入、オーバーテイクに成功しすぐさまトップに浮上する。すぐに後続との差を引き離しにかかり、2周目に入るところには2番手と約2秒もの差をつける。ウェット路面によりタイヤから水しぶきが上がる悪コンディションの中、そのまま安定感のある走りで逃げ切り見事優勝。今季3勝目を飾り、富士シリーズ残り1戦を残して年間ポイントランキング1位が確定、シリーズチャンピオンを獲得した。

6番手スタートの神村選手はオープニングラップで1台パスして5位にポジションアップ。そのまま最後までポジションを守りきり、前戦に続き自己最高を更新する5位入賞を果たした。福島選手は9位でレースを終えた。

○太田選手コメント

前日の予選から難しいコンディションでしたが、勝ってシリーズチャンピオン獲得できたのはすごくうれしいです。ウェットタイヤでもうまく自分の持てる力を出せたと思います。この流れで、日本一決定戦でも頑張りたいです。

○福島選手コメント

悔しいの一言に尽きます。もうシリーズは残り1戦しかないなので、そこで結果を出すためもっと向上心を持って取り組んでいきます。

○神村選手コメント

2戦連続入賞できてうれしいです。それも、前回よりひとつ順位を上げることができました。いい流れで来ているので、この調子で次のレースも頑張りたいです。

○中村監督コメント

今回福島選手はウィークを通してもう一つ波に乗り切れない、努力が空回りしてしまう結果となりました。早くきっかけを掴んで上位に進出してほしいです。

神村選手は非常にいい流れで来て技術的には向上しています。集中力を切らさずに決勝の周回数を最後まで走り切ることが今後表彰台に上がるために必要な項目となりました。

太田選手はウィークを通して非常にいい流れでしたが、予選でのニュータイヤの使用について若干課題が出来ました。しかし、決勝でのセミウェットでの走行では他を寄せ付けない強さを発揮してくれました。精神的にも非常に乗っていますのでこのまま日本一決定戦で好成績を出してほしいです。

今回、太田選手の優勝によりシリーズタイトルを獲得できました。チームとして初シリーズタイトルですので、非常にチーム全員が頑張ったと思います。今後のレースも更なる高みを目指して努力いたしますので応援の程宜しくお願い致します。





Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tkenf.com/sds>



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ